

| | |
|--------|-----------------------------|
| 研究課題番号 | 5-2007 |
| 研究課題名 | PM2.5 の脳循環および脳梗塞予後に及ぼす影響の解析 |
| 研究実施期間 | 令和2年度～令和4年度 |
| 研究機関名 | 広島大学 |
| 研究代表者名 | 石原 康宏 |

1. 委員の指摘及び提言概要

PM2.5 を鼻腔内投与したマウスによる脳梗塞とその予後に関する重要な研究である。PM2.5 中のエンドトキシンが炎症誘導する候補となることを含め、PM2.5 付着物質が季節、地域により異なり、健康に及ぼす作用に影響をもたらすとなれば、環境行政上も重要な知見となることが期待される。横浜と福岡の脳梗塞の発症動向・死亡統計（年齢階級別）等の疫学知見との照らし合わせ、PM2.5 そのものあるいは付着物質の作用か等、さらに詳細な解析が望まれる。PM2.5 を洗浄した Core では死亡しないことから、その原因が粒子ではないという点の更なる確認が望まれる。エンドトキシンによる脳梗塞予後悪化仮説の検証と毒性発現機序の調査が望まれる。

2. 採点結果

評価ランク：A